

諏訪神社

鎮座地： 埼玉県富士見市諏訪二丁目

祭神： 建御名方之神（たけみなかたのかみ）



＜社碑 及び 鳥居の前からの拝殿を見る＞↑

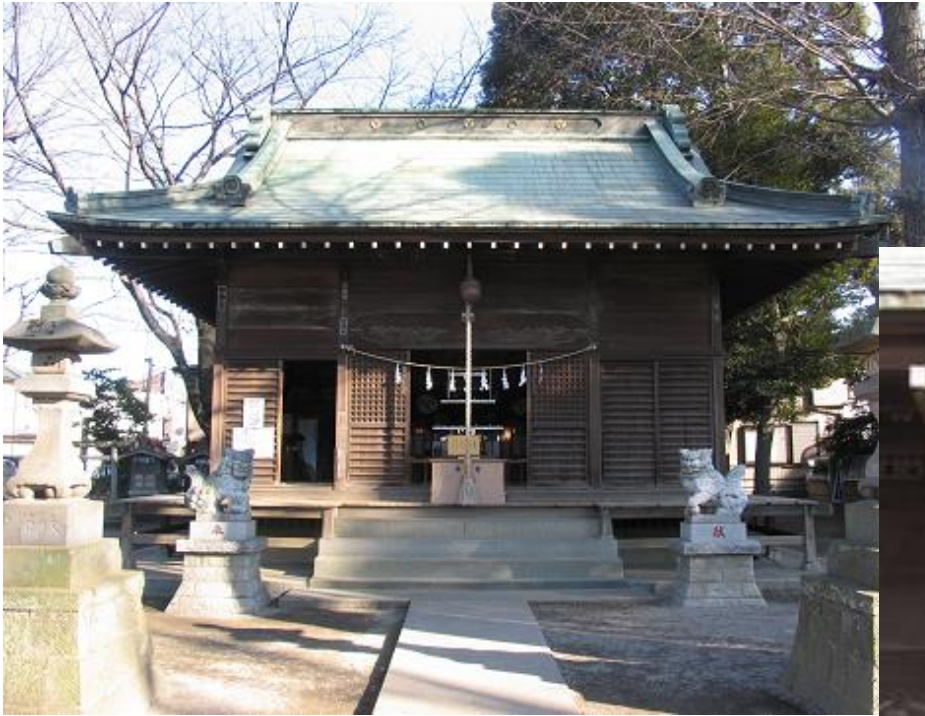
社碑 と 鳥居の額束



『諏訪大明神』⇒



拝 殿



拝殿 正面から（入母屋流造 回廊付）↑



拝殿 鬼瓦・懸魚 ↓



覆殿（覆殿のなかに本殿）⇔ 幣殿 ⇔ 拝殿



↑左横からの、覆殿（中に本殿）⇔幣殿⇔拝殿



↑ 覆殿 切妻造り

※覆殿により、本殿の写真が撮れず
本によると、流造 向拝付 とのこと

神紋： 三つ巴（幣殿より）



↓ 本殿の木鼻の彫刻



神社の説明文より



■信仰：

悪疫防除、諸厄払い、家内安全
産業振興、交通安全、健康増進

■由緒：

当神社は隣接の氷川神社と同様、古代人の住居址の中に建立された神社で創立年度は不詳である。只、元禄十二年改築の棟札は現存しているが、御神木の大櫓などから推察すると遙か古い時代の創立と思われる。

当社は昔時より特に悪病除、諸厄防除の守り神として信仰が厚く氏子の外に東京都下の東久留米、清瀬市内を始め所沢市、新座市、上福岡市、富士見市内より十一ヶ所の敬神講社を有し毎年八月二十八日の例大祭にはその代参者の参拝がある。当日は徳川時代から継続されている渡戸地区より奉納の獅子舞を始め、氏子各地区より奉納物が飾ざられ近郷近在より参拝される善男、善女は万余を数える県有数の大祭が執行される。

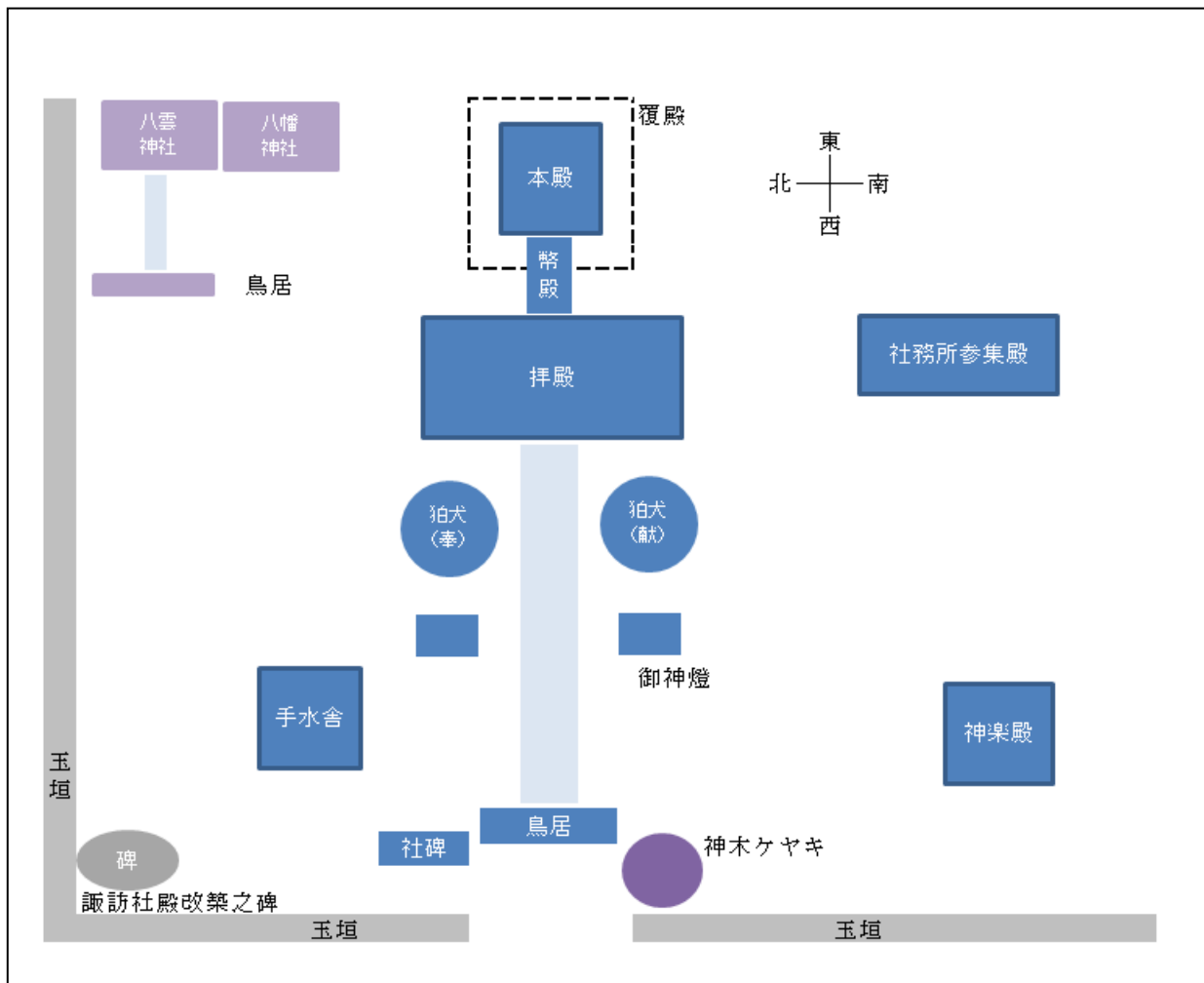
■境内社：

八雲神社 祭神 須佐之男命（すさのおーのみこと）
八幡神社 祭神 誉田別之命（ほんだわけのみこと）

■祭典（年中行事あるいは祭事）：

一月一日	元旦祭
二月三日	節分祭
七月十四、五日	八雲神社祭
七月二十八日	夏越大祓い祭
八月二十七、八日	諏訪大祭
随時	初宮参り 厄祓い 諸 禱 神前結婚式

境内の概略配置図



玉垣



神木 大櫟



昭和57年（1982）市政施行10周年記念に制定された富士見市の木は、櫟（ケヤキ）です。

諏訪神社（諏訪2丁目）境内に市指定天然記念物の櫟があります。富士見市保存樹指定第1号で、樹齢約500年・樹高約20m・幹周約6.3mです。ニレ科の日本の代表的な落葉広葉樹で、埼玉県の木でもあります。

古くから市内に自生しており、現在も市内で良く見かけられ、成長が早く雄大な樹形は、富士見市発展との結びつきを感じさせます。

また昔は1本の櫟が一家の生計を救うことがあったという貴重な木でもあります。

手水舎



<手水舎>

神楽殿



<神楽殿> 入母屋造

御神燈



狛 犬



境内社： 八雲神社 と 八幡神社



記念碑



← 社殿改築之碑

拝殿・幣殿・覆殿の改築についての碑

昭和30年4月改築奉賛会

昭和31年10月起工

昭和32年7月造営完了

昭和32年10月記念碑建立

諏訪神社について・・・「郷土富士見検定問題集」より

旧鶴馬の諏訪神社（諏訪2丁目）の建立は、元禄5年（1692）といわれ、建御名方
之命（たけみなかたのみこと）を祭神としています。総本社は長野県の諏訪大社です。
通称、「おすわさま」と親しまれ、悪病よけの神、また、農業神としての信者が多く、
8月28日の例大祭にはナス・キュウリ・枝豆などがそなえられます。

例大祭で奉納される渡戸の獅子舞は、伝えるところによると、太田道灌が江戸城築
城後、その外城の地として川越と鶴馬を検地した頃、疫病が流行し、多くの病人が出
ました。道灌の家来が京より**3頭の獅子面**と**山の神面**を購入し、和田戸（現在渡戸）
の名主宅に村民を集め、舞を伝えた後、諏訪大明神の社頭で悪疫退散の舞を奉納した
ところ、病は治ったといいます。以後、渡戸組においては、獅子舞の維持発展に尽力
し、現在に至ります。

3頭の獅子面⇒

山の神面⇒



■「おすわさま」：

諏訪2丁目の諏訪神社では、古くから「おすわさま」と呼ばれ地域で親しまれている神社のお祭りが行われます。毎年8月28日に例大祭が行われ、露店が連なり、近隣からも訪れるほど多くの人で賑わいます。

夕方からは、市指定民俗文化財になっている勝瀬囃子（はやし）、そして渡戸獅子舞が奉納され、祭りの見どころになっています。夏の夕暮れ時、軽やかなお囃子の音色を聞きながら、そぞろ歩きを楽しむことができます。

市民大学講座「木と私たち」のグループが竹で作った灯ろうに火をともし、しみじみとした味わいを感じることができます。



<例大祭>
風景



富士見市ホームページ「観る・楽しむ・学ぶ」⇒「市内のみどころ」⇒
「市内の祭り」⇒「おすわさまの祭り（８月）」より全文引用

TOP > 観る・楽しむ・学ぶ > 市内のみどころ > まつり > おすわさまの祭り

おすわさまの祭り



市指定文化財の「渡戸獅子舞」



「勝瀬囃子」

古くから『おすわさま』と呼ばれ地域で親しまれている諏訪神社のお祭りです。毎年8月28日に例大祭が行われ、露店が連なり、近隣からも訪れるほど多くの人で賑わいます。

夕方からは、市指定文化財になっている勝瀬囃子(はやし)、そして渡戸獅子舞が演じられ、祭りの見どころになっています。夏の夕暮れ時、軽やかなお囃子の音色を聞きながら、そぞろ歩きを楽しんでみてはいかがでしょうか。

- とき: 8月28日
- 場所: 諏訪神社(富士見市諏訪2丁目)

また、『おすわさま』にあわせて市民大学の受講生などからなる皆さんが、里山の手入れのため伐採した竹で作った灯ろうを展示し、夏祭りに華を添えます。



ろうソクのほのかな明かりが幻想的です。



孟宗竹の手づくりの灯ろう

■「諏訪神社の節分（２月）」：

富士見市ホームページ「観る・楽しむ・学ぶ」⇒「市内のみどころ」⇒
「市内の祭り」⇒「諏訪神社の節分（２月）」を参照してください。

TOP > 観る・楽しむ・学ぶ > 市内のみどころ > まつり > 諏訪神社の節分

諏訪神社の節分

立春の前日に各地の神社仏閣などで節分の行事が行われるこの日。市内の諏訪神社では追儼(ついな)祭が行われ、神職と氏子の年男・年女などが祈禱を捧げたあと「鬼は外、福は内！」のかけ声とともに境内で豆まきが行われます。

災いを払い一年の無病息災を願い、静かだった境内が福を授かろうと多くの人々でにぎわいます。



- **とき:** 2月3日 午後2時30分頃から
- **場所:** 諏訪神社(諏訪二丁目)

記載日：2014/2/2

この内容は、「神社の説明文」と「郷土富士見検定問題集」、「富士見市史」、「富士見のあゆみ」、「ふじみの伝説・昔ばなし」、「富士見市ホームページ」等から、記載しています。

なお、ダウンロードpdfの関係を考えて、勝手ではありますが「富士見市ホームページ」はリンクではなく全文の「貼付」とさせて頂きました。